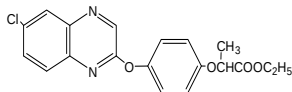
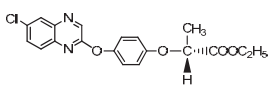
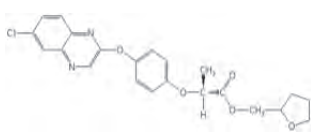


キザロホップエチル及びキザロホップ P テフリルについて

フェノキシプロピオン酸系除草剤。活性体（キザロホップの *R* 体）が脂肪酸生合成の初期段階の酵素アセチル CoA カルボキシラーゼを阻害してマロニル CoA 生成・脂肪酸生合成を阻害し、分裂組織を破壊することにより植物体を枯死させるものと考えられている。

- ✓ 当初ラセミ体のキザロホップエチルで開発・登録され、国内ではラセミ体が登録されている。その後光学活性体キザロホップ P エチルが開発され、北米、欧州等の諸外国で登録されている。また、欧州等ではキザロホップ P テフリルが登録されている。
- ✓ 残留農薬基準はキザロホップエチルとして設定されており、キザロホップ、キザロホップエチル、キザロホップ P、キザロホップ P エチル及びキザロホップ P テフリルが含まれる。

		キザロホップエチル (ラセミ体)	キザロホップ P エチル (<i>R</i> 体)	キザロホップ P テフリル (<i>R</i> 体)
		キザロホップエチルとして評価済 ^{注)}		
構造式		 (<i>S</i> 体: <i>R</i> 体=50:50)		
主要代謝物	動物	キザロホップ (代謝物 B)、ヒドロキシフェノキシプロピオン酸 (代謝物 G)、キザロホップの水酸化体 (代謝物 E)	キザロホップ (代謝物 B)、ヒドロキシフェノキシプロピオン酸 (代謝物 G)、キザロホップの水酸化体 (代謝物 E)	キザロホップ (代謝物 B)、キザロホップの水酸化体 (代謝物 E)、ヒドロキシキノキサリン (代謝物 J)
	植物	キザロホップ (代謝物 B)、キザロホップの抱合体	キザロホップ (代謝物 B) (抱合体の情報なし)	キザロホップ (代謝物 B)、ヒドロキシキノキサリン (代謝物 J)、ヒドロキシキザロホップフェノール (代謝物 N)
	土壌	キザロホップ (代謝物 B)	—	キザロホップ (代謝物 B)
	水中	キザロホップ (代謝物 B)	—	キザロホップ (代謝物 B)
ADI		0.009 mg/kg 体重/日 (食品安全委員会)		0.013 mg/kg 体重/日 (EFSA) 0.01 mg/kg 体重/日 (豪州)

注) キザロホップエチルのラセミ体及び *R* 体の試験の比較から、両者の動態及び代謝は同等であり、毒性プロファイル及び毒性の程度もほぼ同等と判断された。